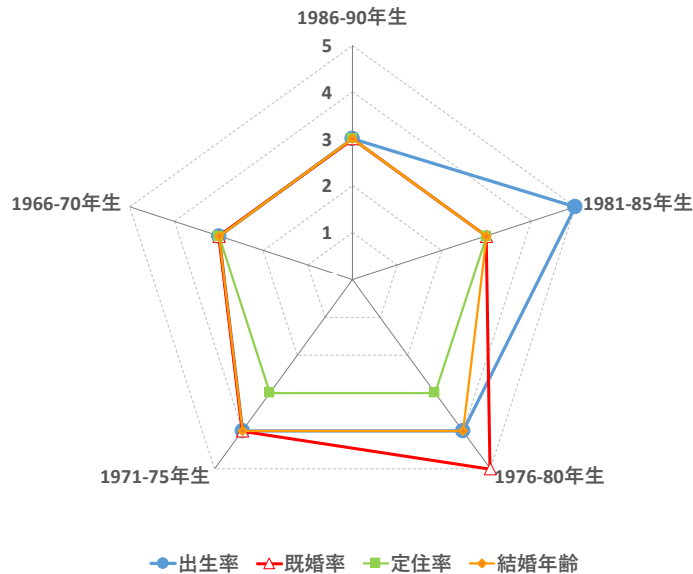


### (13) 妙高市

#### ①出生に関する総合評価

図13-1 コホート別総合評価



注：各コホート別の新潟県30市町村内の順位を5段階で評価している。

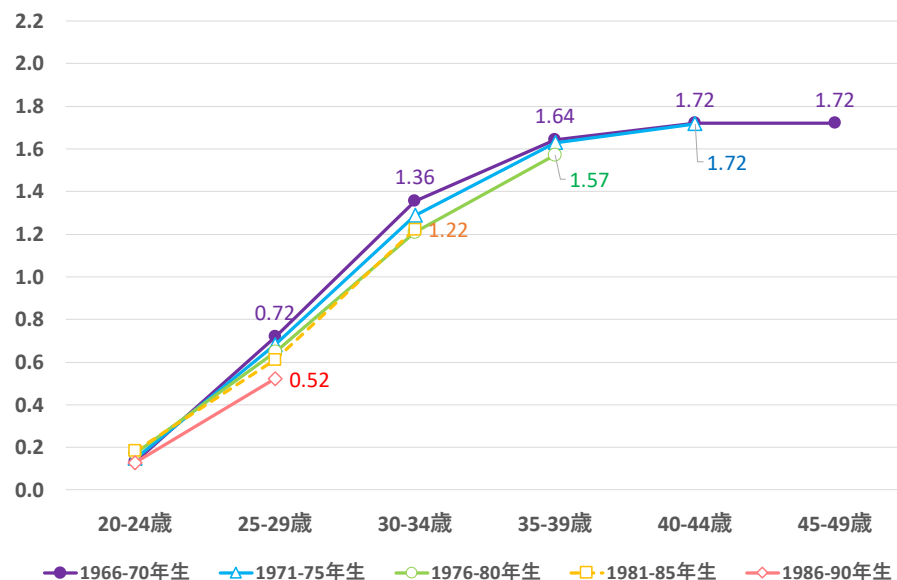
1. 合計出生率は、1966-70年生まれと1986-90年生まれは中位、1971-75年生まれと1976-80年生まれは上位、1981-85年生まれは最上位である。
2. 女性既婚率は、1966-70年生まれ、1981-85年生まれ、1986-90年生まれは中位、1971-75年生まれは上位、1976-80年生まれは最上位である。
3. 女性定住率は、すべてのコホートで中位である。
4. 女性結婚年齢は、1966-70年生まれ、1981-85年生まれ、1986-90年生まれは中位であるが、1971-75年生まれと1976-80年生まれは上位である。

#### 【総合評価】

1. 妙高市では、定住率が全コホートで中位に属しており、既婚率と結婚年齢もほとんどのコホートが上位と中位に属している。合計出生率もほとんどのコホートが上位と中位に属している。
2. 1980年代生まれコホートの女性既婚率が低下傾向にあるため、特に80年代後半生まれコホートの25-29歳までの合計出生率がそれ以前のコホートよりも低下している。
3. 25-34歳の出生数は、1980年代前半生まれまでは1人以上を維持しているが、25-29歳の出生率が一貫して減少傾向にあることから、今後も1人以上を維持できるかは30歳代でのキャッチアップがどの程度達成できるかに依存する。80年代後半生まれの20歳代の女性既婚率は、80年代前半生まれ以前のトレンドを下回っていることから、楽観視できる状況にないかもしれない。

## ②コホート合計出生率

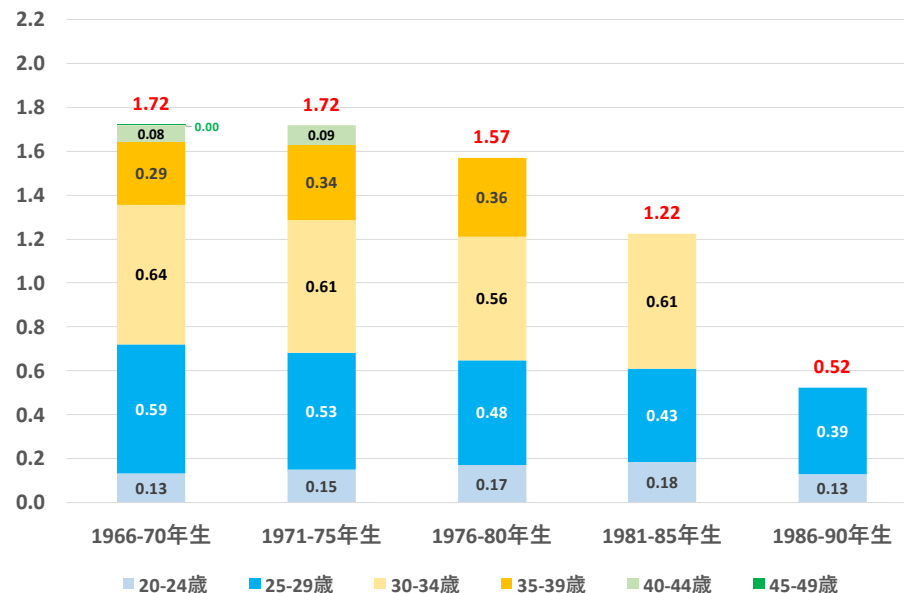
図 13-2 コホート合計出生率の推移



注：新潟県「福祉保健年報」より作成。

- ・ 図 13-2 は、妙高市のコホート合計出生率の推移を示している。
- ・ 県内他市町村と異なり、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれの違いはほとんどみられない。
- ・ しかし、1976-80 年生まれ以降のコホートでは 25-29 歳の合計出生率が低下しており、特に、1986-90 年生まれの 25-29 歳の合計出生率が低下している。

図 13-3 コホート合計出生率の年齢区分別内訳

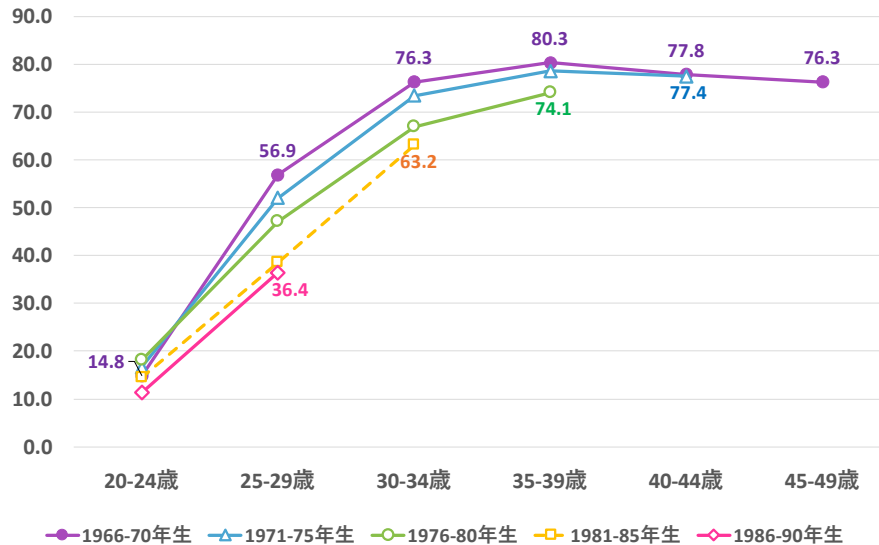


注：新潟県「福祉保健年報」より作成。四捨五入のため内訳の計と合計が一致しない場合がある。

- ・ 図 13-3 は、コホート合計出生率の年齢区分別内訳を示している。
- ・ 20 歳代の出生数は、1966-70 年生まれコホートの 0.72 人に対して、1986-90 年生まれは 0.52 人に減少している。30 歳代では 1966-70 年生まれの 0.93 人に対して、1976-80 年生まれは 0.92 人と変化がない。
- ・ 晩婚化のため 20 歳代の出生率が低下しているが、30 歳代でも 1966-70 年生まれから 1 人が生まれていない状況が続いている。
- ・ 子どもが産まれる確率が最も高い 25-34 歳の出生数は、すべてのコホートで 1 人以上が生まれているが、1986-90 年生まれの 25-29 歳での出生数はこれまでよりも少ない 0.39 人に減少した。

### ③コホート別既婚率

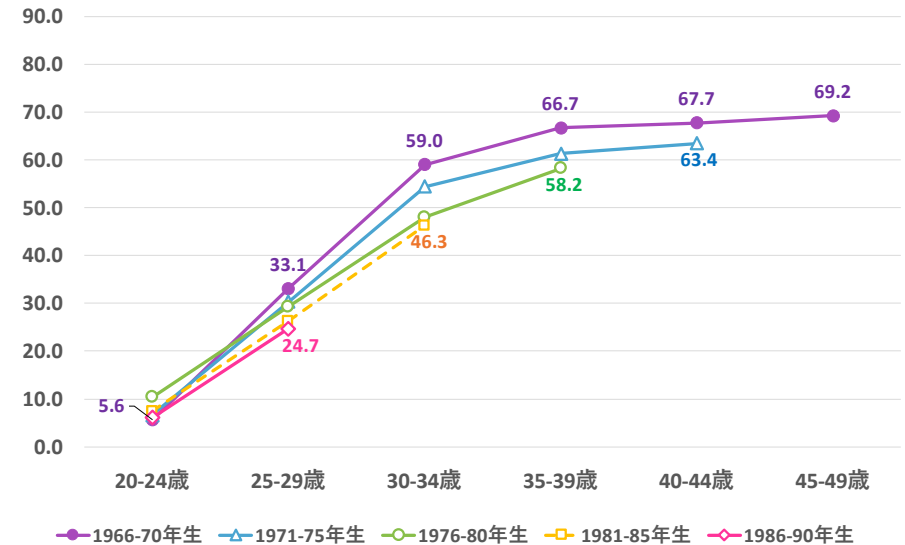
図 13-4 コホート別既婚率の推移(女性) 単位：%



注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 13-4 はコホート別の到達年齢までの女性既婚率の推移を示している。
- ・ 25-29 歳以降で、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれ以降の間に既婚率の大幅な低下がみられる。さらに、1971-75 年生まれとそれ以降のコホート間でも、25-29 歳と 30-34 歳時点の低下がみられる。
- ・ 25-29 歳の既婚率は、1966-70 年生まれの 56.9%から 1986-90 年生まれは 36.4%へと 20.5 ポイント低下し、35-39 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 80.3%から 1976-80 年生まれは 74.1%へと 6.2 ポイント低下している。

図 13-5 コホート別既婚率の推移(男性) 単位：%

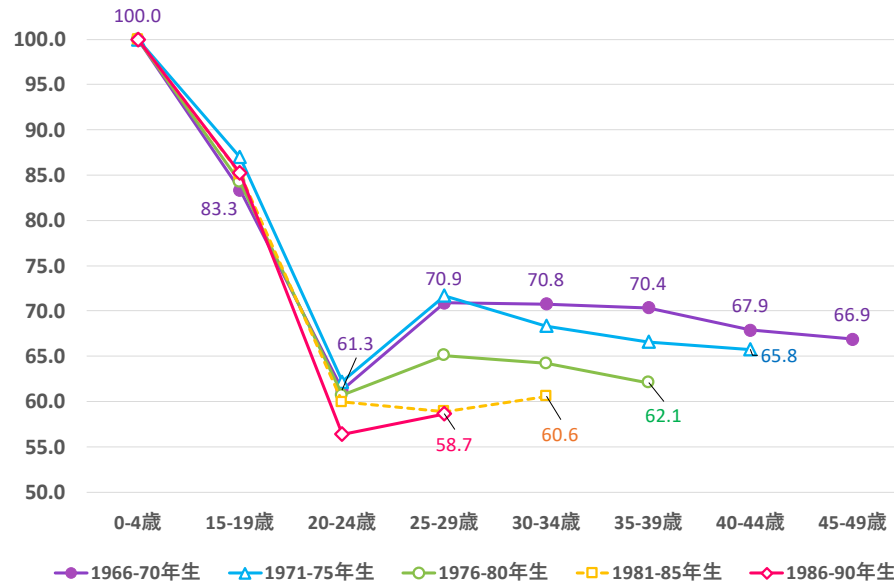


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 13-5 はコホート別の到達年齢までの男性既婚率の推移を示している。
- ・ 男性既婚率も女性同様に最近のコホートほど低下する傾向が確認できるものの、女性既婚率と比較してコホート間の差が小さいが、他市町村よりは低下幅が大きい。
- ・ 25-29 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 33.1%から 1986-90 年生まれは 24.7%へと 8.4 ポイント低下し、35-39 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 66.7%から 1976-80 年生まれは 58.2%へと 8.5 ポイント低下している。
- ・ 女性既婚率は 40 歳代で 70%台半ばに達するが、男性は 60%台半ばから後半に止まり、男性既婚率のほうが低い傾向がある。

④コホート別定住(残存)率

図 13-6 コホート別女性定住率 単位：人口指数

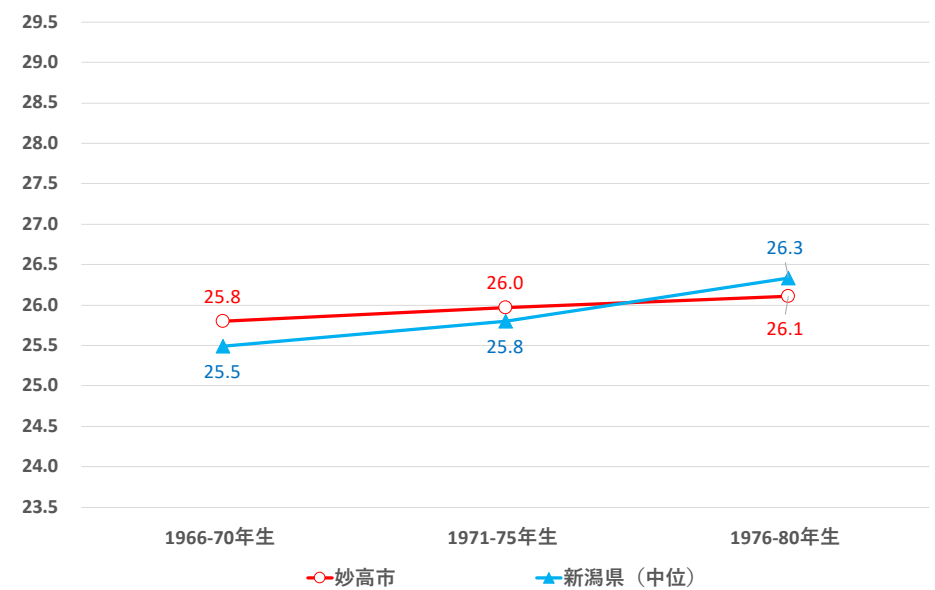


注：0-4歳人口=100。「国勢調査」より作成。

- ・ 図 13-6 はコホート別の到達年齢までの定住率の推移を示している。
- ・ 25-29歳における女性定住率は、1966-70年生まれの70.9から1986-90年生まれは58.7に12.2ポイント減少しており、35-39歳における女性定住率は、1966-70年生まれの70.4から1976-80年生まれは62.1に8.3ポイント減少している。
- ・ 妙高市では、25-39歳時でみると、1971-75年生まれ以前は0-4歳時点の60%台後半から70%を維持していたが、1976-80年生まれ以降は50%台後半から60%台前半まで低下した。

⑤コホート別女性平均結婚年齢

図 13-7 女性平均結婚年齢 単位：歳

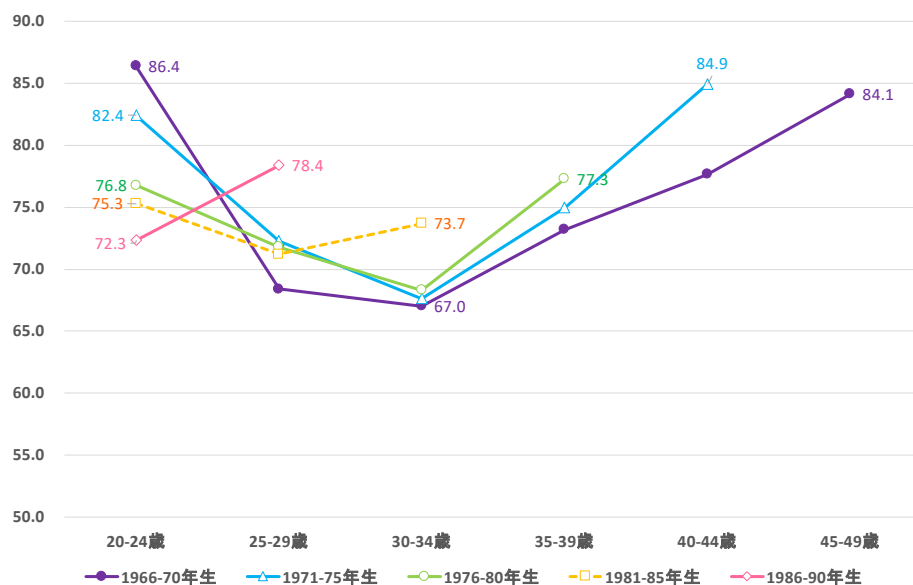


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 13-7 はコホート別の35-39歳までの女性平均結婚年齢を示している。
- ・ 1966-70年生まれ、1971-75年生まれ、1976-80年生まれの35-39歳までの女性平均結婚年齢は、それぞれ25.8歳、26.0歳、26.1歳である。1966-70年生まれと比べて、1976-80年生まれは0.3歳だけ平均結婚年齢が遅れている。
- ・ 1966-70年生まれの県内順位は22位、1971-75年生の県内順位は21位と県内自治体と比較すると遅かったが、1976-80年生は10位となり県内平均(中位)と比較するとやや早い自治体となった。

### ⑥コホート別女性就業率

図 13-8 コホート別女性就業率 単位：%

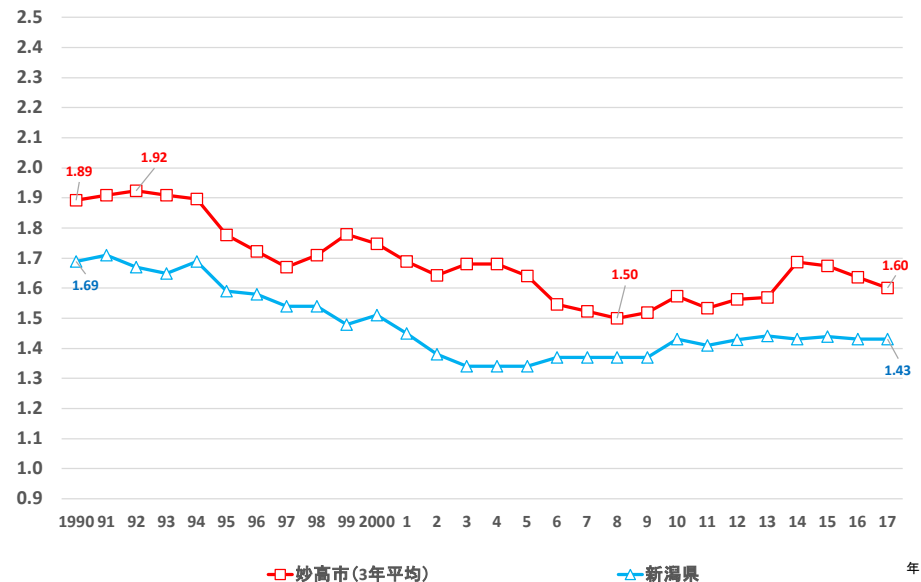


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 13-8 はコホート別の女性就業率の推移を示している。
- ・ 20-24 歳から 25-29 歳までの女性就業率の変化を見ると、1986-90 年生まれのコホートは上昇しているのに対し、それ以外のコホートでは低下している。
- ・ 30-34 歳の女性就業率を見ると 1966-70 年生まれは 67.0%であったのに対して、1981-85 年生まれは 73.7%に上昇している。
- ・ 1970 年代生まれまでは M 字カーブが確認されたが、1981-85 年生まれコホートでは 30-34 歳時点で M 字の底が確認されない。

### ⑦期間合計特殊出生率

図 13-9 期間合計特殊出生率の推移



注：市町村の出生率は 3 年間の移動平均値である。新潟県「福祉保健年報」より作成。

- ・ 図 13-9 は、1990 年から 2017 年までの新潟県平均と妙高市（3 年平均）の期間合計特殊出生率の推移を示している。
- ・ 1990 年以降でみると、妙高市の期間合計特殊出生率は一貫して新潟県平均より高く、期間平均では 0.21 ポイント高い。
- ・ 妙高市の期間合計特殊出生率は、1992 年の 1.92 をピークに低下してきたが、2008 年の 1.50 を底に、2014 年には 1.69 まで改善したが、2017 年には 1.60 に低下している。